

浅間山噴火に伴う農作物等の技術対策について

令和 元年 8 月 8 日
農 業 技 術 課

【共通】

- (1) 降灰等が農作物に長期間付着すると生育に影響を及ぼすおそれがあるため、ブロワーによる払い落としや動力噴霧器等により散水を行い、できるだけ速やかな除去に努める。
- (2) 気象庁の発表する噴火警報等に十分留意し、噴石の降下等の危険が予測される場合は、農作業を行わないこと。降灰下で作業を行う場合は、防護メガネ、防塵マスクを着用し、火山灰が皮膚に触れないよう服装に留意する。

【予防対策】

- (1) 野菜
苗床は、できるだけパイプハウス等を利用して降灰に備える。
- (2) 飼料作物
 - ア 噴火による降灰は相当長い期間被害を与える恐れがあるので、危険区域外に飼料作物を確保する。
 - イ 屋外にある乾草、稲わら等は集積してポリフィルム、またはビニールフィルムで被覆する。

【事後対策】

- (1) 共通
 - ア 降灰により商品性の低下などが懸念される。降雨により細部に流れ込んだり、固まったりする心配があるので、農作物に積もった灰は、できるだけ速やかに除去する。
- (2) 果樹
 - ア 降灰を受けた場合は、間を開けず、速やかに灰を除去する。なお、除去は、ブロワーによる払い落としや動力噴霧器等を利用して散水することとし、この場合、圧を上げないように留意する。
ブルーベリーは、がくあ部に灰が付着しやすいので丁寧に払い落としを行う。
 - イ 収穫期に達した果実は収穫時に除灰する。なお、出荷に際しては出荷団体と充分協議し、クレームとならないよう留意する。
- (3) 野菜
 - ア 降灰を受けた場合は、水洗いをする。
 - イ 結球して収穫期に達したものは速やかに収穫する。なお、出荷に際しては出荷団体と充分協議し、クレームとならないよう留意する。

(4) 花き

きく等露地品目の葉に積もった灰は、水をかけると固まってしまい流れ落ちなくなるので、フラワーネットを持って茎を揺するなどして灰を落とす。なお、朝露や降雨でも灰が固まるので注意する。

(5) 家畜

降灰で汚染した河川の水は、原則として飲ませないようにする。

(6) 施設園芸共通

ア パイプハウス等の被覆資材に付着した火山灰は、速やかに除去する。なお、高所での作業の際には、転落事故が起きないように十分注意する。

イ 被覆資材面の除灰には、動力噴霧器による高圧ノズル（鉄砲ノズル等）を利用した洗浄が最も効果的である。